

債券スマートインカム戦略<リスク抑制型> (ファンドラップ)

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の国債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年4月15日～2022年4月14日

第3期	決算日：2022年4月14日	
第3期末 (2022年4月14日)	基準価額	9,054円
	純資産総額	644百万円
第3期	騰落率	△6.4%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

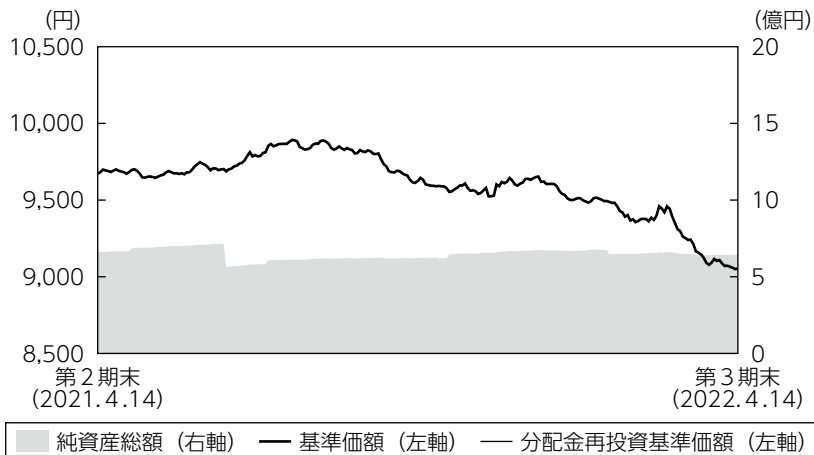
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第3期首： 9,674円
 第3期末： 9,054円
 (既払分配金0円)
 騰落率： △6.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

金利上昇ヘッジ戦略がプラスに寄与したものの、高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンドが下落したことにより、当期の基準価額は620円の下落となりました。(騰落率△6.41%)

1 万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	(2021年4月15日 ～2022年4月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.550%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,602円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(49)	(0.506)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	(1)	(0.005)	
(c) その他費用	5	0.048	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(4)	(0.041)	
(監査費用)	(0)	(0.004)	
(その他)	(0)	(0.004)	
合計	58	0.603	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

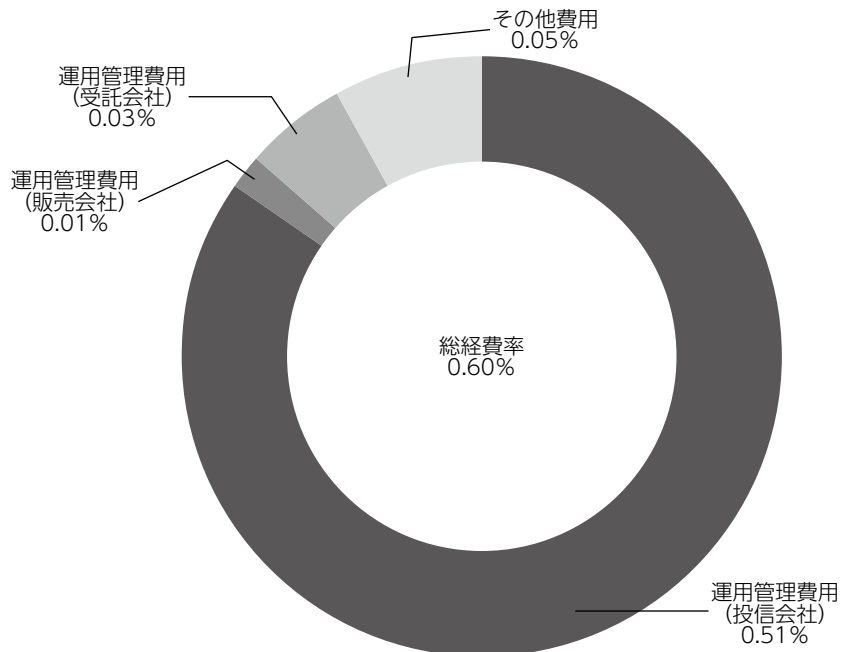
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.60%です。



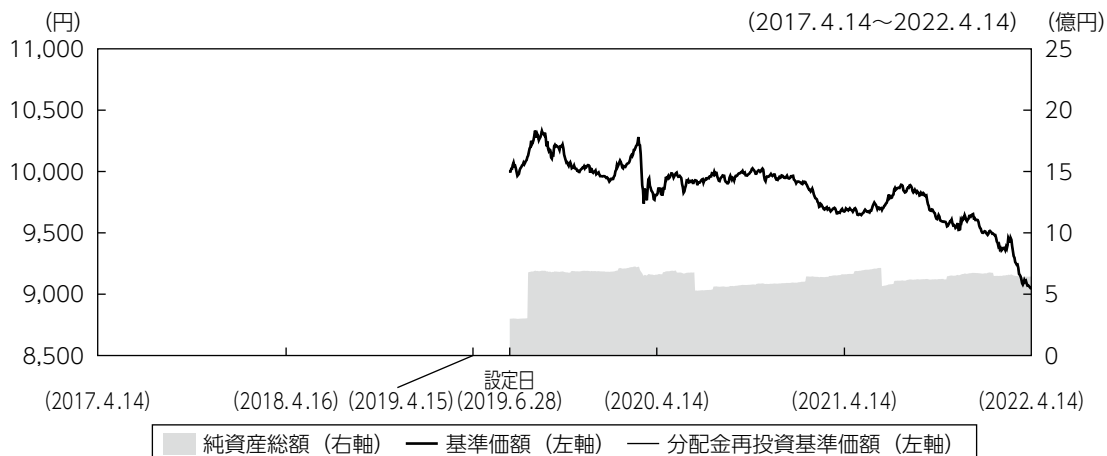
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2019年6月28日 設定日	2020年4月14日 決算日	2021年4月14日 決算日	2022年4月14日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	9,809	9,674	9,054
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.9	△1.4	△6.4
純資産総額 (百万円)	300	659	661	644

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

投資環境

今期は、世界的に債券利回りが上昇（債券価格は低下）しました。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大や、ロシアのウクライナ侵攻に伴うリスク回避的な動きなどを背景にして、債券利回りが低下する局面がありましたが、2021年9月以降、各国中央銀行による金融政策正常化に向けた動きが積極化し、2021年10月以降は量的緩和の終了や、各国中央銀行による利上げが相次いでなされたことなどを背景にして、期末にかけて世界的に債券利回りが上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

主として高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンドを高位に組み入れた運用を行いました。また、金利上昇シグナルの点灯状況に応じて、債券先物による売建を行いました。

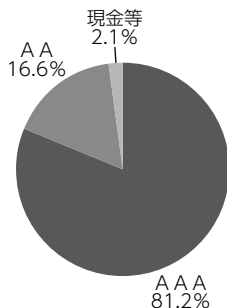
●高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンド

今期は、為替ヘッジコストが低く、イールドカーブの傾きが大きい、オーストラリアやアメリカへの配分比率が大きくなりました。期末近くでは、短期金利上昇を受けてヘッジコストが大きくなった、アメリカの配分比率が小さくなりました。

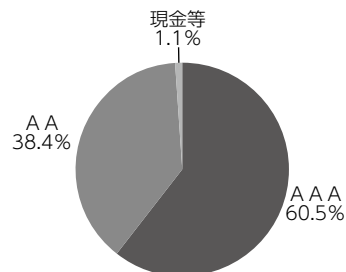
【高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンドの運用状況】

○格付別構成比

期首（前期末）



期末



（注1）構成比は、高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）国内の国債等の格付については、国内格付機関（R&IおよびJCR）による上位のものを採用し、+・-等の符号は省略して表示しています。海外の国債等の格付については、海外格付機関（S&PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表記方法にあわせて表示しています。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年4月15日 ～2022年4月14日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	303円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンドを高位に組み入れた運用を行います。また、金利上昇シグナルの点灯状況に応じて、債券先物による売建を行います。

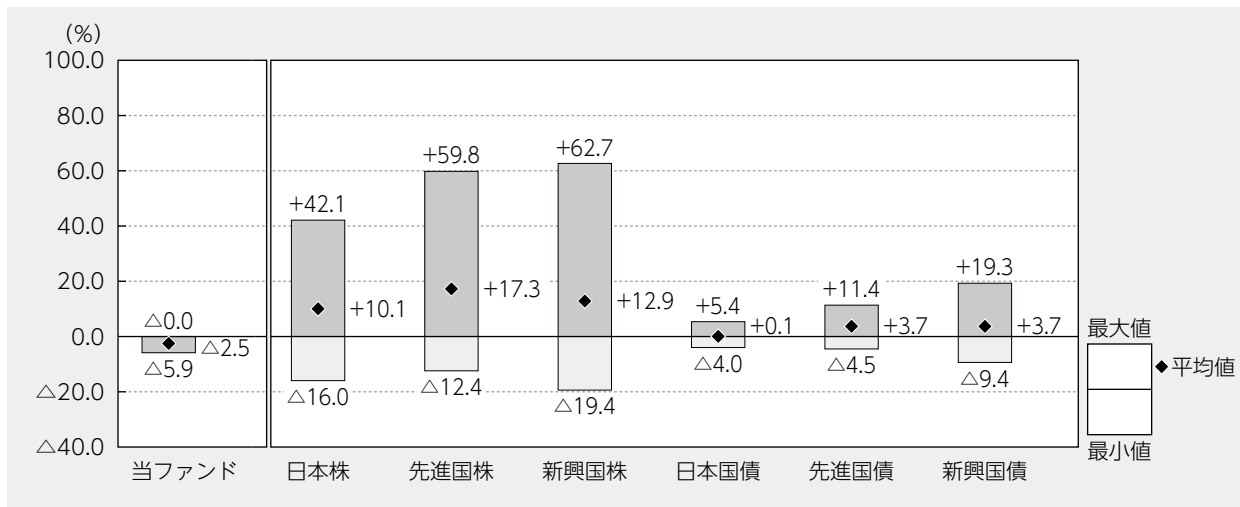
●高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンド

日本国債、および、F T S E 世界国債インデックスの構成国の外国国債で格付がA A 格以上の国債を投資対象とし、イールドカーブの形状が変わらないときに得られる、と想定されるリターンである、インカム水準を高めるように、毎月動的に配分比率を決定し、中長期的に安定的なリターンの獲得を目指します。イールドカーブの傾きが大きい、オーストラリアなどへの配分比率を高めとします。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2019年6月28日から無期限です。	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	債券スマートインカム戦略<リスク抑制型> (ファンドラップ)	高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンド	日本国債およびA A - 格（債券格付けまたは発行体格付け）以上の日本を除くF T S E 世界国債インデックス構成国の国債を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国の国債へ実質的に投資します。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。金利上昇による実質組入債券の損失を回避するために、委託者独自の「金利上昇シグナル」をもとに、金利上昇の可能性が高い局面と判断した場合には、債券先物取引を売り建て、債券の実質エクスポージャーを減少させます。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。なお、上記債券先物取引にかかる海外先物の証拠金および評価損益は為替ヘッジを行わない場合があります。	
分配方針	決算日（原則として4月14日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2020年6月~2022年3月

代表的な資産クラス : 2017年4月~2022年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2022年4月14日現在)

◆組入ファンド等 (組入ファンド数: 1ファンド)

	当期末
	2022年4月14日
高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンド	94.3%
その他	5.7

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

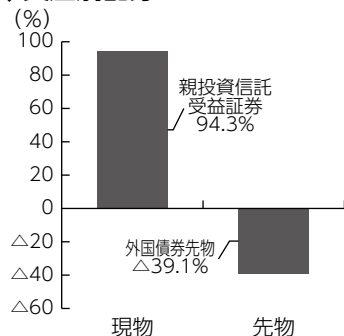
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
EURO-BUND FUTURE	売建	16.5%
US 10YR NOTE FUT	売建	14.1
AUST 10Y BOND FUT	売建	5.4
LONG GILT FUTURE	売建	3.1
組入銘柄数	4銘柄	

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

◆資産別配分



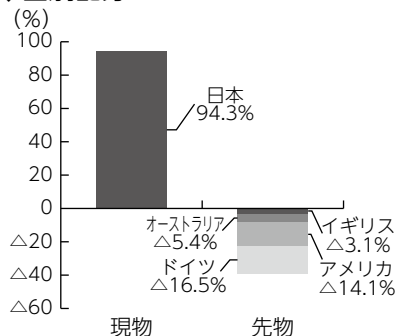
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 先物比率は、買建比率-売建比率です。

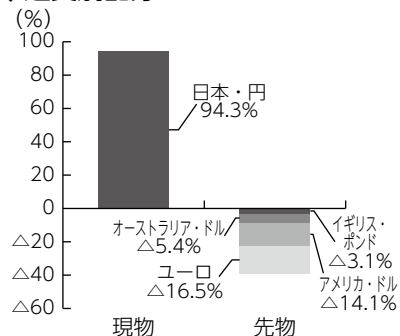
(注3) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注4) 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。なお、債券先物取引にかかる海外先物の証拠金及び評価損益は為替ヘッジを行わない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

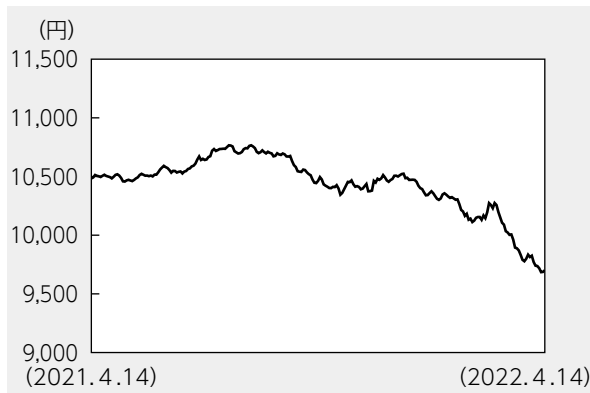
項目	当期末
	2022年4月14日
純資産総額	644,216,958円
受益権総口数	711,510,468口
1万口当たり基準価額	9,054円

(注) 当期中における追加設定元本額は265,667,599円、同解約元本額は238,161,510円です。

組入ファンドの概要

【高格付グローバル債券スマートインカム戦略マザーファンド】（計算期間 2021年4月15日～2022年4月14日）

◆基準価額の推移



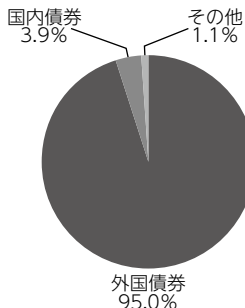
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 4.25 04/21/26	オーストラリア・ドル	2.3%
AUSTRALIAN 3.25 04/21/25	オーストラリア・ドル	2.2
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	2.2
AUSTRALIAN 4.5 04/21/33	オーストラリア・ドル	2.1
AUSTRALIAN 1.25 05/21/32	オーストラリア・ドル	2.1
AUSTRALIAN 0.25 11/21/25	オーストラリア・ドル	1.9
AUSTRALIAN 1.75 11/21/32	オーストラリア・ドル	1.9
SINGAPORE 2.625 05/01/28	シンガポール・ドル	1.8
DENMARK 0.5 11/15/27	デンマーク・クローネ	1.8
AUSTRALIAN 4.75 04/21/27	オーストラリア・ドル	1.8
組入銘柄数	145銘柄	

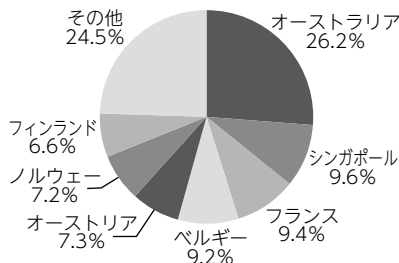
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用 (その他)	2円 (2) (0)	0.017% (0.017) (0.000)
合計	2	0.017
期中の平均基準価額は10,431円です。		

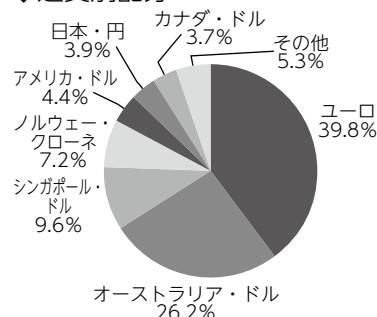
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行います。

(注7) 国別配分、通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注8) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。